

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目	芸術:美術Ⅲ(選択)		単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を養う。			
使用教材	教科書「日本文教出版 高校生の美術3」 1年次に購入した絵の具セット、スケッチブック			
評価の観点・評価規準	(美術への関心・意欲・態度)	(発想や構想の能力)	(創造的な技能)	(鑑賞の能力)
	美術文化を尊重し、意欲的、主体的、創造的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的・機能的で個性豊かな表現を構想している。	創造的な表現活動をするために必要な造形感覚や専門的な技能を身につけ、表現方法を創意工夫して創造している。	美術作品や文化的遺産などについて幅広く理解し、感性や想像力を働かせてよさや美しさなど深く感じ取ったり味わったりしている。
評価方法	関心・意欲・態度の観点については、意欲的、積極的に作品に取り組むことができたか、制作上のねらいや留意点を意識して取り組んだかといった内容を踏まえ、その他の観点については、作品の完成度や作品の完成まで計画的に進められたか、制作方法を理解し、用具の使用法は適切であったかといった内容を踏まえて総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	静物画 デザイン基礎知識 デッサンの基礎知識 色彩の基礎知識		<ul style="list-style-type: none"> ・形体をとらえたり、明暗、陰影を表したり、比例、均衡、動勢などを表現したりする能力を身につける。 ・材料道具の適切な使用を工夫するとともに、対象のとらえ方、感じ方をより豊かにする態度を育成する。 	
2	卒業制作:「これまでの集大成」 ※ 油彩画・デザイン・日本画より選択する。 (B2パネル)		<ul style="list-style-type: none"> ・制作を通して空間表現の意味への理解を深め、自己表現の能力と態度を高める。 ・集大成の意味を理解し、これまでに身につけてきた知識や技術で表現したり、自己表現に最も適した表現方法・材料とは何かを理解したりする。 	
3	卒業制作:「これまでの集大成」 ※ 油彩画・デザイン・日本画より選択する。 (B2パネル)		<ul style="list-style-type: none"> ・制作を通して空間表現の意味への理解を深め、自己表現の能力と態度を高める。 ・集大成の意味を理解し、これまでに身につけてきた知識や技術で表現する態度を育成する。 ・大作というより大きな空間を使って、自分の持つ個性を表現する態度を育成する。 	
学習上の留意点	美術Ⅰ、Ⅱの履修が必要となる。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目	芸術:実技Ⅱ【美術】(選択)		単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	美術の幅広い創造活動をとおして、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。			
使用教材	絵の具セット			
評価の観点・評価規準	(美術への関心・意欲・態度)	(発想や構想の能力)	(創造的な技能)	(鑑賞の能力)
	美術文化を尊重し、意欲的、主体的、創造的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的・機能的で個性豊かな表現を構想している。	創造的な表現活動をするために必要な造形感覚や専門的な技能を身につけ、表現方法を創意工夫して創造している。	美術作品や文化的遺産などについて幅広く理解し、感性や想像力を働かせてよさや美しさなど深く感じ取ったり味わったりしている。
評価方法	関心・意欲・態度の観点については、意欲的、積極的に作品に取り組むことができたか、制作上のねらいや留意点を意識して取り組んだかといった内容を踏まえ、その他の観点については、作品の完成度や作品の完成まで計画的に進められたか、制作方法を理解し、用具の使用法は適切であったかといった内容を踏まえて総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	構成画:「風景の中の自画像」 拡大と模写Ⅱ デザイン基礎知識 デッサンの基礎知識 色彩の基礎知識		<ul style="list-style-type: none"> ・形体のとらえ方や明暗、陰影の表し方、比例、均衡、動勢などを表現する能力を身につける。 ・材料道具の適切な使用の工夫したり、対象のとらえ方、感じ方をより豊かにしたりできる能力を身につける。 ・制作を通して自己表現の能力と態度を高めるとともに、構想をまとめ、色彩や形態を意図的にとらえて、主体的に表現しようとする態度を育成する。 	
2	卒業制作:「これまでの集大成、大作の制作」 ※ 油彩画・デザイン・日本画から選択する。(B2パネル)		<ul style="list-style-type: none"> ・制作を通して空間表現の意味への理解を深め、自己表現の能力と態度を高める。 ・これまでに身につけてきた知識や技術で表現したり、自己表現に最も適した表現方法・材料とは何かを理解し選択したりする能力を身につける。 	
3	卒業制作:「これまでの集大成、大作の制作」 ※ 油彩画・デザイン・日本画から選択する。(B2パネル)		<ul style="list-style-type: none"> ・制作を通して空間表現の意味への理解を深め、自己表現の能力と態度を高める。 ・これまでに身につけてきた知識や技術で表現したり、自己表現に最も適した表現方法・材料とは何かを理解し選択したりする能力を身につける。 ・集大成の意味を理解し、大きな空間を使って自分の持つ個性を深く展開しようとする態度を育成する。 	
学習上の留意点	2年次で実技Ⅰ【美術】の履修が必要となる。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目	芸術:芸術発展【美術】(選択)	単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	美術の幅広い創造活動をとおして、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。		
使用教材	美術 I を履修した生徒は1年次に購入した絵の具セット(油絵、デザインガッシュ)を使用、その他の生徒も各自必要な絵具を用意する。		
評価の観点・評価規準	(美術への関心・意欲・態度)	(発想や構想の能力)	(創造的な技能)
	美術文化を尊重し、意欲的、主体的、創造的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的・機能的で個性豊かな表現を構想している。	創造的な表現活動をするために必要な造形感覚や専門的な技能を身につけ、表現方法を創意工夫して創造している。
評価方法	関心・意欲・態度の観点については、意欲的、積極的に作品に取り組むことができたか、制作上のねらいや留意点を意識して取り組んだかといった内容を踏まえ、その他の観点については、作品の完成度や作品の完成まで計画的に進められたか、制作方法を理解し、用具の使用法は適切であったかといった内容を踏まえて総合的に評価する。		
学期	学習内容	学習のねらい	
1	平面構成 アニメーション	<ul style="list-style-type: none"> 対象のとらえ方や感じ方をより豊かにし、ICTを活用して効果的に表現する能力を身につける。 自分の感じ取ったことから主題を生成し、個性豊かに表現する能力を身につける。 静止画から発展し、動画を使った表現の可能性をさぐる態度を高める。 	
2	卒業制作:「大作に挑戦」 ※ 油彩画・デザイン・日本画・映像メディアより選択する。(B2パネル)	<ul style="list-style-type: none"> 既成概念を排除し、表現の多様さ、発想やアイデアの自由さを高めるとともに、表現方法や技法について理解し、自らの発想に生かせる能力を身につける。 人間の内面性の表現、無意識の絵画表現について理解し、様々な技法を身につける。 	
3	卒業制作:「大作に挑戦」 ※ 油彩画・デザイン・日本画・映像メディアより選択する。(B2パネル)	<ul style="list-style-type: none"> 既成概念を排除し、表現の多様さ、発想やアイデアの自由さを高めるとともに、表現方法や技法について理解し、自らの発想に生かせる能力を身につける。 人間の内面性の表現、無意識の絵画表現について理解し、様々な技法を身につける。 	
学習上の留意点	美術 I、II の履修が必要となる。		